

広報長浜まちなか

〒526-0037
長浜市高田町12-34 長浜まちづ
くりセンター内(さざなみタウン)
TEL・FAX 64-2753



[レポート] まちなかの魅力を大学生が発信！

「長浜・まちなか地域づくりインターンシップ」



店主から話を聞く奥愛莉さん



長浜図書館を案内してもらう石飛悠人さん・大路玲菜さん

大学生たちから見ると、まちなかはこんな風に見えている――！

昨年11月から始まった「長浜・まちなか地域づくりインターンシップ」では、県内外の大学から6人の学生が集結し、地域のみなさんの協力のもと、まちなかの施設や店舗を巡り、取材を行いました。

参加した1～3年の男女6人は、二人一組のチームを組み、割り当てられたエリアを各自情報収集。地域づくり連合会の協力員によるおすすめスポット情報などを踏まえて、会ってみたい人や発信したいスポットを選びました。

チームごとに最低5スポットを取材するミッション。朝日町の飲食店「フィユ・ド・ラ・フェラム」を取材していたのが奥愛莉さん（滋賀県立大1年）。ランチメニューを実際に食べ、店主から料理やお店づくりに対する思いを聞き、店舗の雰囲気も含め「デートスポットにもぴったり」と魅了されていました。そのほか洋菓子店など飲食店を中心に回りました。

また、石飛悠人さん（滋賀県立大学3年）と大路玲菜さん（同1年）チームでは飲食店や古書店などのほか、長浜図書館を訪問。同館の司書へ

「本と人をつなぐ」役割を担うことについて深掘りしました。

奥さんは「みなさん長浜に対する熱い思いをもっておられる」と話し、石飛さんは「歴史や文化に新旧がほどよく混じっている雰囲気が良いですね」。また大路さんは「人と人のつながりが強いのが感じます」と印象を振り返りました。

石飛・大路チームの協力員として情報提供や取材に同行したのが樋口安彦さんと西川丈雄さん、堀井康弘さん。堀井さんは「若い世代の興味や関心の視点が新鮮でしたね。ふだん当たり前に暮らすまちなかを、彼らと一緒に歩くことで改めて見直すきっかけになった」と話します。

学生3人は「どの方にも温かく迎え入れていただき、支えてもらって取材ができました。まちなかに行きたくなるような記事を発信したい」と声を揃えます。

彼らが発信するまちなかレポートはインターネット上で閲覧できます！QRコードからアクセスください。



長浜市長へ要望書を提出

昨年12月19日、長浜まちなか連合自治会と当地域づくり連合会が共同で長浜市へ要望を行いました。
当連合自治会の9連合区から提案の各種要望原案をもとに、3本の柱、8項目に取りまとめ市へ提出しました。

●長浜市への要望内容●

1. 人口の減少と若者の流出への対応

- ①空き家活用の支援等によるまちなか定住の促進
- ②高齢者を支える仕組みづくりへの支援

2. 災害に弱いまちの構造と水害への対応

- ③防災対策の充実
 - ・旧図書館跡地の防災公園化
 - ・住宅密集地の除雪対策の充実
 - ・公共施設へのAEDの計画的な配置
- ④米川の治水対策・環境対策の推進
 - ・米川浚渫の早期実施、河口の環境整備
 - ・米川を活かしたまちづくりへの支援



浅見市長へ要望書を提出する渡辺連合自治会長と、辻地域づくり連合会長

3. コミュニティの弱体化への対応

- ⑤自治・地域づくり組織の活動強化への支援
- ⑥小規模自治会等の組織強化への支援

4. その他

- ⑦行政に関わる各種団体への自治会負担金等の仕組みづくりへの指導
- ⑧まちなかの交通安全対策・道路整備
 - ・北国街道の自動車交通規制
 - ・三ツ矢町・三ツ矢元町内の道路の改修

【受講生募集】

おしゃべりが役立つ？

ボランティア講座「～おしゃべりの門には福来る～」

誰かと話して「楽しかったなあ」「スッキリしたなあ」という経験は誰にでもあるでしょう。実は脳の活性化やストレス解消にも良いとされています。そんなおしゃべりを地域のために生かしませんか？ 先進事例を学び、まちなかでも活用していきましょう。

【日時】3月10日（金）13時半～15時

【会場】長浜まちづくりセンター（さざなみタウン）2階多目的ホール

【講師】大津市堅田★おしゃべり★ボランティアグループ

【申込・締切】3月8日までに当地域づくり連合会へ直接

※まちなかでは、独居高齢者宅へ訪問し、おしゃべりするボランティア「話咲隊」が活動しています。講座を踏まえて、参加してみませんか。



まちなか連合自治会と地連を一本化

まちなかの自治や地域づくり活動の体制について、これまで検討委員会を設けて協議を重ねてきましたが、第1段階として2021年12月に9連合自治会が「まちなか連合自治会」として統合されました。

さらに昨年は検討委員会で、まちなか連合自治会と地域づくり連合会の一本化の方針が示され、両団体の役員会で基本的な合意が得られたところです。

今後、5月の定期総会に向けて、下記の基本的な方針に沿って一本化が進められる予定です。

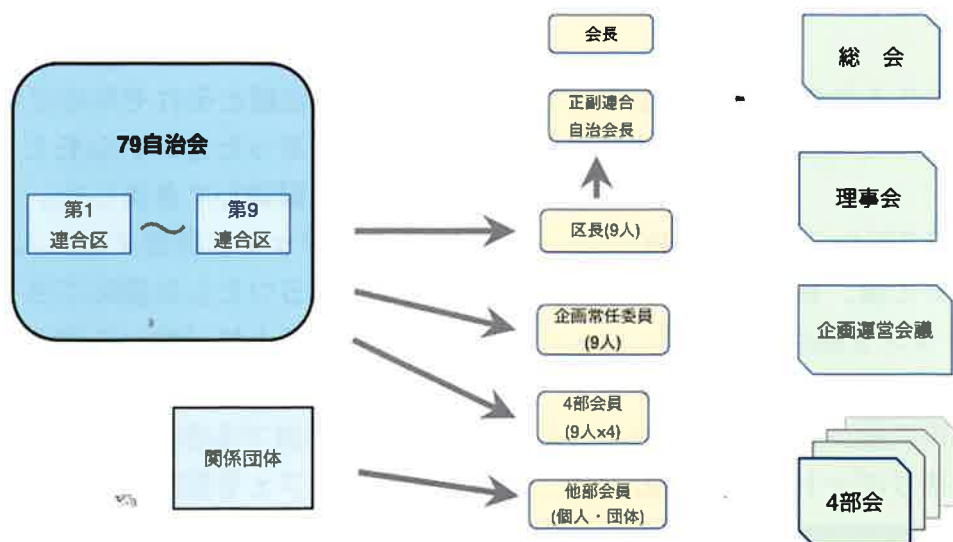
1. 連合自治会と地連の円滑な融合の方針

- ①両組織を統合し、事業、会計を一本化する。
- ②新組織で正副連合自治会長と連合区長の役割を担っていただくことを明確にする。
- ③新組織の会長は原則として前年度・前々年度の連合区長から選ぶ。

2. 新組織と連合区・自治会の連携の方針

- ①連合区長(各連合区の自治会長から選出される連合区の長)に担っていただくこと
 - a各連合区の代表として地区の意見等を新組織に反映する。
 - b各連合区で新組織の事業への住民参加を促進する。
 - c各連合区独自の取り組みを促進する。
- ②企画常任委員(9連合区から各1人選任される2年任期の委員)に担っていただくこと
 - a各連合区と新組織の橋渡し役になる。
 - b1年交代の連合区長の活動をサポートする。
 - c各連合区で新組織の取り組みを広報する。

新組織の体制案



【まちなかフェスタクロージングイベント】

みんなでつながる広場 3月19日（日）開催！

さざなみタウンを会場に、講演、円卓会議、パネル展、マルシェ、アート展など凝縮した内容でお送りします。

詳しいプログラムはQRコードからご覧ください。



曳山のひとつ「孔雀山」がある町であり、山組の組織が1町（江戸時代の52町のうち）だけで成り立っているのは現在ここだけです。出番山の年は男性がまつりのことで忙しくなることから、前回の出番（2019年）をきっかけに、女性が自治会の三役を担うことに。下郷靖子さんが自治会長に就任、4期を務め今年は恩田智子さんへバトンタッチしました。

まちなかだけでなく市全体として自治会役員は圧倒的に男性が多い傾向にあります。「女性に対してはしゃべりやすいというのがあるかもしれませんね。かしこまらず気軽に相談してきてくださるからありがたいです」と下郷さん。

ふたりとも出身は他町や他市。「お商売屋さんが多いエリアなこともあり、連帯感があり、気さくにおつきあいいただける」と恩田さん。なかでも婦人会は、多世代のつながりの場にもなって、結束も強まってきたそう。

昨今は多くの自治会で婦人会組織がなくなりつ



恩田さん（左）と下郷さん。孔雀山の山蔵から北の通り一帯が自治会区域になっている

つありますが、こちらは年に数回の食事会を開きおしゃべりを楽しんでいます。

山蔵の前にあるお地蔵さんでは毎年地蔵盆を開き、町を出てしまった子や孫世代も集まります。「貴重な町内行事をずっと続けていきたい」と二人は強く望みます。

まちなか再発見③ LOCO

「長浜に暮らす人の『あったらいいな』をかたちにしていく場所です！」

「LOCOって何しているところなの？」と尋ねると運営者である宮本麻里さんと桐畑裕子さんは即座にそう教えてくれます。

二人の活動の始まりは2013年から余呉で始めた子育てサークルの運営。その後、長浜まちなかへ、19年からはえきまちテラスを拠点とし、暮らし支援とカフェ運営を行なっています。当初の子育て支援に加え、女性の再就職支援、高齢者の居場所づくり、学生への食事サポートなど、幅広

い世代に向けて展開。二人とも母であり妻であり、社会で働く人であり、高齢の親をもつ立場。当事者としての目線とそれぞれの立場の意見や要望をふまえ「あったらいいなをどうすれば形にできるか」を模索してきました。

約10人のスタッフと奔走する二人ですが、いつも快活ではつらつとした姿にこちらが元気をもらうことも。二人に「会いに来たで！」というファンも少なくありません。

65歳以上なら誰でも参加歓迎の「Najimi」は、毎週定例日にカフェを開放し自由に過ごしてもらう場を提供しています。今後、誰もが気兼ねなくゆっくりと過ごせる空間であるよう、図書館連携を活用し新聞や大人向け図書の閲覧を充実させていく予定。まちの玄関口に、より多くのまちなかの人が立ち寄ってほしいと期待します。



桐畑さん（左から二人目）と宮本さん（同3人目）。カフェのスタッフとともに。皆が笑顔で迎えてくれる

● 合同会社LOCO

長浜えきまちテラス中2階

● Najimiは毎週火曜日ほか、月2回予約制のサロン開催

